

## ◆主題名

おもてなしの心

内容  
項目

B

7

価値  
項目

1・2・③・4

礼儀の意味を理解すること。

本時のねらい

礼儀とは、心が先に来て、後から行動に移るものだということを理解し、相手に対し敬愛の念を態度で示そうという実践意欲を高める。

【導入】

東京五輪誘致時の滝川クリステルさんの「お・も・て・な・し」の動画(画像?)を見せる

Link

中心となる発問を主題とつなげるために、どんな発問をしておけばよいだろうか。

①客を出迎える時、どうする？見送る時は？

実際にやってみる。グループorペアその後代表者数名？

②出迎えてどうだった？見送ってどうだった？

出迎えられてどうだった？見送られてどうだった？

見ていてどうだった？

(本文朗読)

③「もてなしの極意」とは、どういうこと？

## ◆テーマ

(中心となる発問)

「おもてなしでの大切なことはなんだろう？」

ねらいとする価値に迫るために

### 学び合い活動

場面発問①

場面発問②

場面発問③

中心となる発問

### ◆学び合い活動のねらい

なぜ学び合う活動をさせるのか、その意図を明確に。

変容をねらう 多様さに気付かせる ③自分の考えを深めたり広げたりする

その他(

学び合う活動のねらいを達成するための手立て

1 心情円

①中心発問

プレ

②場面発問①

4 心のものさし

5 ICT

③場面発問①

6 その他(役割演

学び合う活動のスタイル

①フリー

②ペア

③グループ

4 その他(

)

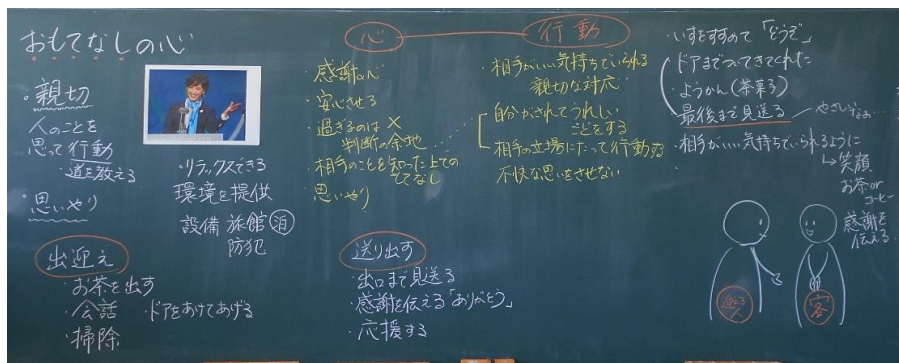
## ◆最後の振り返り

この時間を通しての「本音」が聞けるように！

さりげない立ち居ふるまいのなかに、相手を尊重する思いが感じられるか。自分は、相手のことを大切に思い、TPOを考えているか。自分を一步下がって俯瞰で見られるといいなと思います。

### 【留意点・板書等】

別紙参照



### 【授業後の反省】

役割演技を取り入れて「おもてなしの心」について考えた。シチュエーションを限定せずに行うと、さまざまな展開がみられ、中には「お店を訪れた外国人に対して」というものもあり、生徒の発想力に驚かされつつ楽しんだ。「自宅に友達を招いて」というシチュエーションが最も多かったが、家庭によって「茶菓子を出す」「帰りのドアを開ける」など、細かな違いがあって面白かった。「心」が「行動」とつながり、「ふるまい」となることを最後にみんなでも共有した。6月の高校説明会の時、高校の先生を案内する姿勢に、少し現れていたように思う。